



Weekly Report

2024-25



60th
Anniversary

創 立/1965年 5月 22日
例会日/毎週木曜日 PM12:30~
会 場/江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
0587-54-8132

事務局/江南商工会館 別館1F
TEL / 0587-55-6554
FAX / 0587-59-7720
URL / <https://www.kounan-rc.com>
Mail / kounanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/南村 朋幸 幹事/三輪 慎一郎 会報委員長/横山 史明



2025年(令和7年) 5月29日(木) 第2836回(当年度第33回 例会)

点 鐘
司 会

ロータリーソング斉唱

四つのテスト斉唱

会長 南村 朋幸君
SAA 岩田 静夫君
「日も風も星も」
ソングリーダー 田岡 剛君
安部 聡司君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶

会長 南村 朋幸君



皆様、こんにちは。

本年度、クラブ計画の8つの重点目標のうち、5番目の項目何だか覚えていますか。

そうです。

マイロータリー登録100%の達成です。

実は、本年周年の様々な事業の裏で、地道にこの目標に向けて担当の濱島委員長が動いてくれていて、

昨日もその関連で滝学園に赴きました。仲介役の波多野委員長と作業をして頂く濱島委員長と私との3人で滝祥夫さんにお会いし、マイロータリー登録の作業サポートに行ってきました。結果、無事、滝さんのマイロータリー登録作業がほぼ完了しました。

これで登録率83%ほどになり、100%にまた一步近づきました。あと未登録9名の方を残すのみとなり、正にあと一步なのです。

濱島委員長のこれまでの努力が無駄にならない為にも、是非とも年度内でのマイロータリー登録にご協力をお願いします。

そもそも私がこのマイロータリー登録100%を重点目標に掲げたのは、もちろん私個人が何かのタイトルや名誉が欲しい訳ではありません。

やはりこの目標に向かっていくプロセスがとても大事で、クラブの意識が一つになる切っ掛けになればと思う一存で掲げさせて頂きました。

もう少しで目標に達成できるという思いと、達成した時の高揚感は恐らくどんな組織においても組織全体のモチベーションアップには欠かせない要素であると考えました。

その活動の中で、例えば私も普段なかなかお話しできない滝さんとゆっくりお話しすることができ、いろいろな側面を発見できたり、また、例会にお越し頂ける願いが出来たり、と、できた訳なのです。これもこの活動の副産物の一つだと思います。

ただ、このマイロータリーの登録という作業は、かくいう私もコンピュータ関係に疎いとなかなか前に進めないというのが実情だと思います。なので、今、未登録状態は決して“悪”ではなく、一緒になって登録を目指そうという運動なので、遠慮なくサポートの手を借りて頂きたいと思っています。

あと少しという現状を鑑み、一步踏み込んで、本日は今日現在の未登録者名を発表しようと思い悩みましたが、今日は言わないでおきます。

あと本年度残すところ約1か月。
 ぜひ、皆様の意識を一つにしてマイロータリー登録100%を達成しましょう。
 そして、次年度も重点目標にマイロータリー登録100%を掲げられています。本年度、100%を達成して、来年度新会員さんが入ってきた状態で100%を維持できるようになればとても素晴らしい継続性が生まれると思っています。
 是非とも引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。
 本日もどうぞよろしくお願い致します。

ロータリー財団表彰



マルチプルポールハリスフェロー(+2,+3,+4)
 ピン贈呈 南村 朋幸 君

米山記念奨学会表彰



第4回マルチプル米山功労者 感謝状贈呈
 杉浦 賢二 君



第1回米山功労者 感謝状・ファイル贈呈
 三輪 慎一郎 君

幹事報告 幹事 三輪 慎一郎君

祝 福 親睦活動委員会

出席報告 委員 松野 拓也君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
55名	44名	11名	83. 02%

ニコボックス 委員 松野 拓也君
 ○地区協で／次年度始まる／沢田丸パートⅡ
 地区研修・協議会の報告を宜しくお願い致します。
 南村 朋幸、永田 広光、三輪 慎一郎、北畑 祐二 各君

○近藤さん。思いがけないプレゼントありがとう。
 紹介者でもある伊藤由香さんのスピーチ楽しみにしています。

倉知 正憲君
 ○第1回カラオケ同好会 初代チャンピオン カラオケキングになった喜び。
 堀尾 庄一君

○本日地区研修協議会米山奨学委員会報告させていただきます。
 杵本 哲一君

○本日、地区研修会・協議会報告をさせていただきます。
 近藤 道麿君

○本日、地区研究協議会の分科会報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
 林 庸介君

○5/29(木)地区研修・協議会報告
 近藤道麿君、永田広光君、林庸介君、杵本哲一君、伊藤由香君
 よろしくお願い致します！
 松岡 一成、岩田 静夫、長瀬 晴義、中村 耕司、木本 寛、岩田 進市 各君

次年度 会長エレクト 近藤 道磨 君



私は地区研修協議会、第1分科会に出席しました。

先週、第1分科会の報告が沢田次期会長よりされましたので、私からはその中の「ロータリーの危機管理」についてご報告いたします。講師は地区の危機管理委員長、安城ロータリークラブの大見宏氏でした。

ロータリーで危機管理が問題になったのは、2004年大阪の世界大会でロータリアンの児童虐待、性的虐待があった事実があり、ロータリーの組織が青少年の性的虐待から守る方策を持っていないことを指摘されたことが発端でした。これを受けて2006年RIの理事会はロータリー章典で虐待、ハラスメントの防止の報告、手続きを定めています。この中に「ゼロ容認方針」「72時間ルール」という取り決めが明示されています。

「ゼロ容認方針」というのは、RIが虐待及びハラスメントに対し、いかなる違反も法規適用するという方針です。

「72時間ルール」というのは、虐待、ハラスメント全ての申し立ては報告を受けてから72時間以内にRIに報告するとしています。

虐待のいかなる申し立てもいかなる違反も、即刻、法執行機関、つまり警察などに報告されなければならないとされています。そして、クラブは性的虐待またはハラスメントを行ったと知られている人物に対し、会員身分を認めることはできないとし、さらにクラブが、事実を知りながらそのような人物の会員身分を終結しなかったという情報が得られた場合、RI理事会は方針の遵守を怠ったことを理由に、クラブを終結するとあります。

具体的に学んでもらうためにモデルケースが紹介されました。

「あなたはクラブ会長です。ある女性会員が、クラブの行事で一人の男性から身体を触られたとあなたに伝えました。この女性会員は、この件について理事会や警察には話したくないと言っています。最も適切な対処法はどれでしょうか？」という問いです。

- ① 打ち明けてくれたことに感謝した上で、どのような対応が取られることを望んでいるかを尋ねる。
- ② 誰にも伝えたくないという本人の意向を尊重する。
- ③ ロータリーがハラスメントを一切許容しないことを伝える。警察への連絡を強く勧め、再発防止のために調査

を行いたいと伝える。

答えは③の「ロータリーがハラスメントを一切許容しないことを伝える。警察への連絡を強く勧め、再発防止のために調査を行いたいと伝える。」が最善の対処法です。

これはマイロータリーのラーニングセンターに載っている内容ですので、確認していただくとよろしいと思います。

RIは虐待、ハラスメントに対して非常に厳しい姿勢を取っています。講師から「皆さん、ロータリー章典を肝に銘じてほしい」と強調されました。

最後に、各クラブで危機管理に対応する委員会の設置、もしくは委員会の設置が難しいクラブについては危機が発生した場合即時できる体制を整備していただきたいと言われました。江南クラブも危機管理の体制を整えていくと沢田次期会長が明示されておられます。

危機管理について、皆さん意識を高めていきましょう。

次年度 ロータリー財団常任委員長

永田 広光 君



4/20 2025-26年度地区研修協議会報告 第6分科会 ロータリー財団 永田広光

去る4/20(日)マリオットアソシアホテルにて地区研修協議会が開催され、第6分科会に参加しました。

まずはロータリー財団とは RC 及び地区を通じて実施される承認された人道的及び教育的活動の支援の為に寄付を受け付け、資金を分配する団体である。という説明よりはじまり、

寄付分類・寄付の使途の説明。1、年次基金。2、ポリオプラス。3、恒久基金。4、その他基金の説明。

続いてロータリー財団のプログラム1、ポリオプラス。(世界のポリオ根絶のための最優先事項)2、ロータリーフェローシップ。(国際関係・平和・紛争解決とその関連分野で学ぶ学生への奨学金)3、補助金プログラム(地域社会に貢献するロータリアンの活動を支える活動)を順番に説明いただきました。

つづいてはグローバル補助金奨学生の紹介があり日本からは39名、2760地区からは5名の方が本補助金を活用し海外で学ばれました。現在は3名の方がグローバル補助金の申請中です。そのうち1名は承認済とのことでした。

また江南クラブでも使用しております、地区補助金の申

請方法、注意事項などの説明や運用上の不備事例などの説明がありました。この説明をきいておりましたら本来補助金申請は財団委員会が担当する事なのかとふと思いましたがそっとしておきます。

当日いただいた補助金制度ハンドブックに2025-26年度各クラブが使用できる補助金申請可能額一覧がのっておりまして。ちなみに江南は726ドル 10万ちょいでした。

寄付の2025-26年度の地区目標ですが、①年次基金(3年間投資されその収益が財団の運営に活用されます。元金は3年後地区補助金やグローバル補助金などに活用されます)目標お一人150ドル以上。

②ポリオプラス(ポリオ根絶活動を支援します。ワクチン投与、輸送、モニタリングなどに活用されます)目標お一人30ドル以上

③恒久基金(元金が支出されることなく収益の一部が毎年重要な活動資金となります)目標1クラブ1,000ドル以上

④ポールハリスソサエティ(毎年1,000ドル以上を年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金に寄付してくださる方を認証するためのプログラムです)こちらは目標+1名以上

⑤ポリオソサエティ(世界保健機関WHOがポリオ根絶を宣言するまで毎年ロータリー財団のポリオプラス基金に年間最低100ドル以上を寄付することを約束された方を認証するプログラムです)こちらは目標会員の5%以上 以上が次年度の地区目標となります。

最後になりますが地区からのロータリーのクレジットカードの作成協力依頼です。現在江南ロータリークラブは、ダイナースのクラブカード1枚、メンバー個人ではオリコカード3枚使用されております。こちらのカードは毎日の買い物、公共料金のお支払いで財団活動に貢献できますのでお持ちでない方はご検討よろしくお願い致します。以上お願いばかりではございますが2025-26年度の地区目標達成に向けみなさまのご協力をお願いいたしまして報告を終わります。

次年度 青少年奉仕委員長 林 庸介 君



次年度青少年奉仕委員長を拝命しました林です。私からは、第7分科会の報告をさせていただきます。

今回は「貢献しよう、青少年と共に・・・」というテーマで分科会が開催されました。

ロータリーの五大奉仕とは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして、青少年奉仕です。

そしてその青少年奉仕には、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、学友の5つの委員会があります。

今回の分科会では、私のように、各委員会がどのような活動を行っているかの知識が無い人にも、わかりやすく説明していただきましたので、その内容を報告いたします。

まず、次期地区ロータリー奉仕委員長より、「地区の全クラブが、青少年活動に何らかの形で関わってほしい。」とのメッセージがありました。時期地区ロータリー副委員長より、インターアクト、ローターアクトに関しても、近隣クラブ合同での設立を例に、積極的な提唱の呼びかけがありました。

続いて、各委員会の活動内容についての説明がありました。

インターアクトクラブは、「若者に社会奉仕の機会を」と1951年にメルボルンでスタートした、12歳～18歳の中学・高校生のための社会奉仕クラブで、地元でのボランティアや海外のインターアクターとの交流を通じて、リーダーシップ、思いやりの心、責任感、国際理解を身につけることがテーマ、とのことでした。第2760地区では30クラブを目標としていますが、現在は19クラブとのことでした。

ローターアクトクラブは、18歳以上の青年男女のための、主に大学や地域社会を基盤とし、奉仕活動を通して親睦を図り、リーダーシップと専門的なスキルを育む、奉仕クラブです。スポンサーとなるロータリークラブが奉仕のパートナーとして支援します。第2760地区では現在、84クラブの内34クラブが関わっているとのことでした。

青少年交換については、16歳～18歳の青少年の交換留学生プログラムです。候補生期間1年、OBS(留学期間)1年、ROTEX(帰国後)期間1年を通して、単なる語学留学ではなく日本の親善大使として、日本のことを知ってもらう、好きになってもらうために活動し、自分で考え行動する力、国際感覚を養うことのできるプログラムです。今回の分科会でも、プログラムを終了し4月から大学生になったばかりの留学生が、立派なスピーチをされていました。

学友については、以前は『ロータリー財団学友』を指していましたが、2013年度より定義が変わり、インターアクトやローターアクト、青少年交換などのプログラムに参加経験のある方の総称になりました。愛知ロータリー学友会については、2023年に認証されたばかりで、発足して2年目ということもあり、これから本格的に活動を広げていきたいとのことでした。

RYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム)は、ロータリークラブまたは地区が実施する、若者のためのリーダーシップ養成プログラムです。1日のセミナーや数日間の研修などを行います。プログラムとして確立され

ている事もあり、RYLA委員の人以外のロータリアンが関わる部分が少ない、とのことでしたが、9月～10月にRYLAの申込募集があるので、一人でも受講生を出してほしいとの要望がありました。

今回の地区研修・協議会で、青少年の各委員の内容をある程度理解することができましたので、今後様々な活動への参加を通して、より理解を深めるとともに、将来江南ロータリークラブとして、あるいは近隣クラブと合同で、どのような活動で関わっていくことができるのか、学んで行きたいと思います。

以上が第7分科会の報告です。ご清聴ありがとうございました。

次年度 米山奨学委員長 杵山 哲一 君



私は第 8 分科会 次期米山奨学記念委員会に出席してきました。

本年度 米山記念奨学制度指定校応募により 当クラブは昨年に引き続き

・CAO NHI LY YEN (カオ ニー リ イエン)さん

・ベトナム出身 女性 23 歳

・名古屋経済大学経済学部経済専攻 4 年生

・期間:2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

支援します。

まず手渡された資料「クラブ米山記念奨学委員長の手引き」の最初に書いてあるのが

“奨学事業の価値はどんな奨学生を採用したか？で決まります”

“さらに意味のある事は どんな奨学生に育てたか、育ててくれたか、にあります”です。

前半は地区の範囲、後半が世話クラブの役割です。

本米山記念奨学会は 東京ロータリークラブ主体で 1967 年、文部省の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」となり、今年で 57 年、131 カ国、23, 509 人(2023.07 現在)を支援しました。民間最大級の国際奨学事業で、2020 年から内閣府から業務委託の覚書を毎年締結しています。

＜事業の使命(重要)＞

将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。……であり、金員に恵まれない留学生を支援するものではありません。

本事業は、日本のロータリー会員の寄付を財源に日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給しています。

＜2023-24 年度事業費＞() は 2023-24 年度

支出 15.5(14.4)億円、内奨学金 12.6(12.2)億円 81.0%(85%)

＜2024 年度採用数＞() は 2023 年度

約 926 人/年。累計:24,133 人

＜2024 年度 2760 地区実績＞

57 人(内、継続 18 人)

＜支給額/月＞

学部課程 10 万円 修士 & 博士課程 14 万円 その他

＜選考方法＞

指定校推薦制度:地区が選定した指定校から学生を推薦、地区選考委員が面接・選考する。日本語会話能力がポイント

＜奨学生用保険＞

団体総合補償制度費用保険に加入済。例会、地区行事参加時に適用

＜個人情報取扱:皆様に注意してほしい事＞

奨学生・学友の、顔写真、個人情報等、本人が特定できるものは了承を得てから慎重に行う様御願います。

・FaceBook や Instagram への投稿時、奨学生レポートや手紙を週報・月信・SNS に掲載する時

・参考:米山奨学会では 2005 年 6 月以降、名簿の作成を廃止しています。

＜残念な数字(2023-24 年度)＞

学友全体数 22, 609 人中(除現役) 死亡者 117 人(0.5%)、住所不明者 4, 859 人(21.5%)

＜世話クラブの主な役割(抜粋)＞

- 1) 例会への招待と奨学金の支給
- 2) 奨学生レポート・カウンセラー所見の提出
- 3) 卓話と近隣クラブへの招待
- 4) カウンセラーはクラブと奨学生を繋ぐパイプ役
- 5) ロータリー精神を伝え奨学生の責任と義務を自覚してもらう
- 6) 奨学期間終了後も連絡を取合い交流の機会を作る

＜米珠学友会を中心に発足した 8 クラブ＞

米山学友の同窓会組織で、奨学期間終了後、ロータリーと交流を深め地域奉仕活動を企画し活動しています。海外には 10 カ国と地域にあります。例えばベトナムではホーチミンで「ベトナム南米山学友会」が 2023 年 5 月設立されましたので 仕事や観光等でお越しの際はお立寄りする事をお勧めします。きっと日本との素敵な架け橋となってくれるでしょう。

台北東海 RC(R.I.D.3482) 承認 1995 年 / 台中分心 RC(R.I.D.3461) 承認 2007 / 東京米山友愛 RC(R.I.D.2750) 承認 2010 / 東京米山ロータリーE クラブ 2750(2750) 承認 2012 / さいたま大空 RC(R.I.D.2770) 承認 2013 / 茨木ロータリーE クラブ(R.I.D.2820) 承認 2019 東京麹町スターロータリー衛生クラブ(R.I.D.2580) 承認 2022 / 宝塚ユニバースロータリー衛生クラブ(R.I.D.2680) 承認 2023



2025年5月20日に行われた2025－2026年度地区研修・協議会の第9分科会（入会3年未満の新会員向けの研修）についての報告です。本研修は3人の講師の方々が登壇され、最後に講評がありました。全体を通して、新会員に向けてロータリー活動のイメージを大まかに紹介したものでした。

最初に、吉川ガバナーによる「ロータリー120年の変遷」について話がありました。ロータリーが創立された1905年当初の様子について、当時マフィアが暗躍し、ビジネス界において倫理観より利益追求が優先される中で、4名の創立者が奉仕活動（例えば、都市の劣悪な公衆衛生状況を行政に改善させようと働きかけた）を始めたという説明がありました。また、ロータリークラブ・国際ロータリー・ロータリー財団の関係や倫理指針である四つのテスト、日本におけるロータリー活動の創立と2760地区の発展状況、国際ロータリーの活動の変遷（近年については、特にエンドポリオについて）が示され、最後に将来のビジョンと行動計画について話されました。

次は、石川次期地区ファシリテーターが、「ロータリアンの変わらぬマナー」という題目で登壇されました。ロータリアンのマナーとは、ロータリーライフを円滑に行うために身につけておくべき行動や態度であると説明し、大切なことはメンバーとしての義務をどう果たすかということ、そしてわからないことは他の人に聞き、楽しいロータリーライフを、ということでした。ロータリアンの三大義務として（1）例会に出席する（2）会費を納める（3）「ロータリーの友」を購読する（特に特集）を挙げられました。

続いて、酒井パストガバナーにより「私のロータリー観」が話されました。ポイントとして、「ロータリーの魅力」、「クラブの一体感」、「例会の大切さ」、「寄附事業の重要性」、「未来に向けた希望」という5つの項目を示しながら、繰り返し、個人の活動が重要であり、自ら動かなければ楽しくないこと、クラブの文化はそれぞれであること、またクラブの未来は会員が存在していることだと説明がありました。たとえ商売敵であっても、ロータリーの会員となった翌日からは同胞であると相手に受け入れられたことが、印象的だったとのことでした。

最後に講評では、ロータリーバッジをつけることは会員全員から承認を得たことであり、社会に認められた証拠

であることを自覚しておくようにとされました。また、四つのテストはもともと倒産の危機にあった会社の再興のために、従業員的心得として創案されたものであるが、宗教色を削いだこの短い文言は本来関連付けて考えるものであり、すべての人々の倫理的指針であると説明されました。

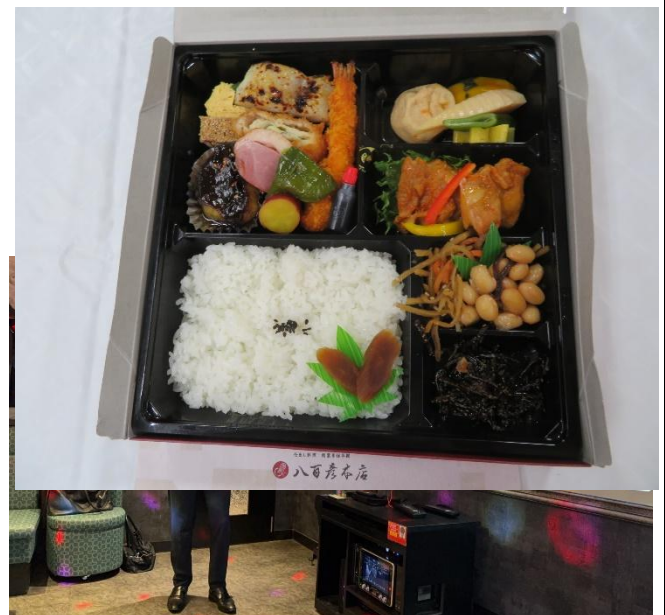
本研修を受けながら、例会等で南村会長や他の会員の方々がよく口にされていた事柄も多くあると感じられましたが、新たに、国際ロータリーと各クラブの関係やロータリーの活動が変革を迫られていることがわかりました。また、四つのテストが宗教色を削いだということだけでなく、時代や国境を超えて、所謂「三方良し『売り手に良し、買い手に良し、世間に良し』』という経営理念と相通じるのではないかと感じました。

以上、2025年5月20日に行われた2025－26年度地区研修・協議会の第9分科会（入会3年未満の新会員向けの研修）についての報告といたします。

点 鐘

会長 南村 朋幸君

本日の食事



第1回カラオケ同好会

5月27日(火) カラオケJOYJOY江南高屋店
出席者は9名
最高得点者は堀尾先輩
野々垣さんの計らいで歌っている人の写真をプロジェクターに映し出すという面白い試みもなされました。



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら
※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインをご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら



江南 RC 会報 YouTube
チャンネル登録はこちら

写真等ございましたら会報までお知らせください。
(担当 早川 一三)